

平成25年度第3回一宮市子ども読書活動推進懇話会・
子ども読書活動推進会議合同会議 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成25年9月26日（木）午後1時30分～午後3時30分
- 2 開催場所 木曾川庁舎 3階 第1会議室
- 3 出席者 懇話会委員 9名（欠席 1名）
推進会議委員 14名（欠席 1名）
事務局 7名

4 議題

- （1）会長及び副会長の選出について
- （2）一宮市子ども読書活動推進計画の成果について
- （3）「子ども読書のまち宣言」（案）について
- （4）その他

5 開会

事務局（事務局が開会を宣言）

教育長挨拶

懇話会委員、推進会議委員、事務局自己紹介

6 会議録（要旨）

（事務局）議題（1）については、一宮市子ども読書活動推進懇話会設置要綱第4条第1項及び第2項により会長、副会長を選出。（懇話会委員任期：平成25年6月～平成27年5月）

以後の議事進行は、一宮市子ども読書活動推進懇話会設置要綱第5条に基づき一宮市子ども読書活動推進懇話会会長が務めた。

（会長）議題（2）について審議願います。

（事務局）一宮市子ども読書活動推進計画の成果について説明。

（委員）単に読書冊数が増えたから成果があがったと単純に捉えるのではなく、読書傾向や中身を多角的に検討する必要がある。

不読率については、本を読むことの意味を先生と生徒で話し合い、考える機会を持つことが大事であると思う。

（委員）未実施の事業を少しでも多く実施していただきたい。

目の不自由な子どもたちのために夏休みなどに対面朗読を実施してはどうか。

（事務局）未実施の事業について、現在、具体的な施策はありませんが、必要な課題ばかりですので、今後検討し具体化していきます。

（委員）25年度中央図書館の子ども読書の日の行事が少なかった原因は何か。

（事務局）3月までボランティア育成講座を開催し、読み聞かせボランティアグループが立ち上がったばかりでした。来年度は行事が広げられるのではないかと思います。

っています。

(委員) 読書冊数や不読率については難しい問題で、読書冊数が増えればいいわけではないが、読書の中身を指標にするのは難しい。

本が好きな子どもはどんどん本を読みますが、どの子にも本の魅力を知ってもらい、読書習慣を形成するための指導をしなければならない。中学生は忙しくてなかなか読書をする時間をとれないが、学校としては不読率に重点を置きたいと考えている。

(委員) ブックスタートで、若いお母さん方と接すると、図書館を知らない、行ったことがないという人が多く、図書館のPRをどんどんしなければならないと感じている。

小学校の図書館でボランティアとして図書の整備や読み聞かせをしている。新しい本が入ると子どもたちは競い合うように本を借りる。予算の関係もあるが、古い本から新しい本に変えていってほしいと思う。

(委員) 移動図書館の小学校ステーション数の目標値が11校から14校に上がったのはなぜか。

(事務局) 第1次計画では、移動図書館車の小学校ステーション数の最終目標値が全ての小学校42校としていましたが、現実的に難しいので第2次計画では14校に修正しました。

(委員) 計画の基本的な考え方について、啓発、指導といった言葉が非常に多いので、子どもの目線から本を読むことのあり方を考える機会をもうければいいと思う。大人が良書をすすめるのも効果的だが、子どもが自分で選んだ本を読んでもらう姿勢も必要かと思う。

(委員) ボランティアグループのネットワーク化の取り組みについて、図書館で読み聞かせをするグループの連絡会は4年前にでき、現在14グループ、183名の団体である。さまざまグループとの交流が深まり、活動状況も知ることができ、有意義な連絡会になっている。ただ、小中学校にも読み聞かせのボランティアグループが活動しているが、ネットワーク化が進んでいない。ボランティアグループの成り立ちは様々だが、ネットワーク化して連携をしていくことが子どもたちによい本の出会いの場を作ることができると思うので、連携ができるようにサポートをお願いしたい。

(委員) 孫が、学校図書館の本が少ないのであまり借りてこない。親もどこに学校の図書館があるのか知らないので、1年生の公開授業の時に、学校図書館の説明があれば本と親しめるのではないかと思う。

(学校教育課長) 子どもたちが小学校に入学するときに学校体験をしています。保護者の方には、一週間程度学校公開をする時期に学校図書館を開館しますので案内できます。

(委員) 学校図書館の司書さんと連携がないまま、活動しているボランティアがいる。

学校でもボランティアが学びあえる場所があったほうがいいので、図書館と学校教育課と協力していただきたいと思います。

(事務局) 3月の子ども読書サミットでは、図書館と学校教育課が共同作業で進めさせていただきました。来年1月の子ども読書のまち宣言のイベントに向けて、図書館と学校教育課と情報交換しながらより輪を広げていきたいと考えています。

(委員) 学校ボランティアは熱心な方が多く、子どもにいい本を提供したいがどんな本を読みきかせすればいいか迷っている。職員の方が研修で得た新しい情報をボランティアにも教えていただいてボランティアに良い輪が広がればいいなと思う。

(委員) 今までは図書館の方と話しあう場がなかったが、子ども読書サミットをきっかけに、これから年に2～3回実施できたらと思う。

(会長) 委員の皆様にお諮りします。お話していただいた意見を考慮して第2次計画を推進していくことでよろしいか。

(委員) 賛同。

(会長) 議題(3)について審議願います。

(事務局) 第1回・第2回の子ども読書活動推進懇話会で、「子ども読書のまち宣言」(案)についてご審議いただきました。それに基づき、7月にパブリックコメントで広く意見を募集しました結果、市民提出意見はありませんでした。そのため、この案で10月の市教育委員会に諮りまして、その結果で12月市議会に提出する方向で進めています。12月市議会の議決後は、子ども読書のまち宣言を発表して取り組みたいと考えています。

(委員) 第1回、第2回の懇話会で議論を重ねましたので、特に補足する事はありません。

(会長) 議題(4)について事務局より説明を願います。

(事務局) 次回の懇話会は1月もしくは2月を予定しています。

(会長) 本日予定していた議題はすべて終了しました。長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。

(教育長) お礼のことば

(事務局) 子ども読書活動推進懇話会と推進会議の合同会議を閉会いたします。